



土砂災害の危険度情報は、短期降雨指標（60分間積算雨量）と長期降雨指標（土壌雨量指数）の「2時間先までの予測値」または「実測値」を用いて、土砂災害発生危険度の高まりについて、1 kmまたは5 km四方の領域（メッシュ）ごとに危険度のレベルを表示しています。

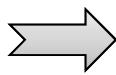
60分間積算雨量は、雨量観測局で10分毎に測定された雨量を、過去60分間積算したものです。土壌雨量指数は、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを表します。

土砂災害の危険度は、過去の土砂災害発生時の雨量データをもとに定めた危険基準、警報基準、注意報基準のそれぞれに対して、「2時間先までの予測値」または「実測値」が超えるか否かで、判定しています。

新しい危険度レベルの区分

これまでの危険度レベルの区分

危険度	降雨の状況	発表される情報
レベル3	「2時間先までの予測値」または「実測値」が危険基準を超える	土砂災害警戒情報
レベル2	「2時間先までの予測値」または「実測値」が警報基準を超える	大雨警報
レベル1	「2時間先までの予測値」または「実測値」が注意報基準を超える	大雨注意報



危険度	とるべき避難行動	降雨の状況	発表される情報
レベル4	避難完了の目安	「実測値」が危険基準を超える	土砂災害警戒情報
レベル3	避難開始の目安	「2時間先までの予測値」が危険基準を超える	土砂災害警戒情報
レベル2	避難準備の目安	「2時間先までの予測値」または「実測値」が警報基準を超える	大雨警報
レベル1	今後の雨に注意	「2時間先までの予測値」または「実測値」が注意報基準を超える	大雨注意報

新しい土砂災害の危険度では、これまでの3段階から、4段階に細分化します。

レベル4の場合、過去の土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況（すでに土砂災害が発生しているおそれがある状況）になっていますので、この基準に到達するまでに、土砂災害警戒区域外など、安全な場所への避難が完了できるよう、早めの避難を心がけることが重要です。